



木造建築の
伝統が育んだ
技術・技能の継承、
担い手の
確保・育成の
道をつくる



畳 から 考える

職人の手わざが生きる 新しい建築空間

Tatami Reimagined:
Craftsmanship and Innovation in Architecture



東京都畳高等職業訓練校にて

2025

11.15(土)

13:00 → 16:45

けんせつプラザ東京 5階会議室

東京都新宿区北新宿1-8-16 東京土建一般労働組合 本部会館

参加無料 建築従事者、建築従事者をめざす学生の参加も歓迎します。
どなたでもご参加いただけます!

「東京建築カレッジの教育実践」
展示&入学相談コーナーもあります。



第1部 | 基調講演

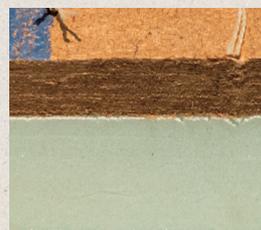
畳の基礎知識。
その魅力を生かすには

東京都畳高等職業訓練校 校長
1級畳製作技能士

小曽根涼一さん

第2部 | クロストーク

濱崎亮さん(中野区・浜崎畳店)、
第一線で活躍する東京建築カレッジ
卒業生も参加!



主催: 職業訓練法人 東京土建技術研修センター
職業能力開発短期大学校 東京建築カレッジ



東京都豊高等職業訓練校の授業風景

豊の最新事情から
職人の手わざが生きる・生かせる
建築空間づくりを
自由闊達に考えてみませんか？

Program

第1部 | 基調講演



小曽根涼一

Ryoichi KOSONE

東京都豊高等職業訓練校 校長
小曽根豊店(葛飾区堀切) 代表

1級豊製作技能士

歴史的建造物修復士(金沢市)

金沢匠の技能士(豊)

第2部 | クロストーク

伝統の技術・技能を生かす提案力を高め、担い手を確保・育成するために今、何ができるか。濱崎亮さん(中野区・浜崎豊店)や、第一線で活躍する東京建築カレッジ卒業生を交えて話し合います。

今年度の公開講座のテーマは、「豊から考える～職人の手わざが生きる新しい建築空間」。東京建築カレッジには豊の実技実習はありませんが、国内外のセレブリティが自然を感じる建築空間を手軽に自宅に導入できるアイテムとして注目しているのが豊。現代のライフスタイルに合う新しい商品開発が進み、多くの人に和の建築空間の新鮮さ、魅力を再発見する役割を果たしているようです。

一方で、一般住宅では和室が大幅に減り、豊職人は各地域で消滅が危惧されています。担い手の確保と育成はきわめて厳しい状況にあります。

これは豊に限らず、伝統的な木造建築づくりを担ってきたほとんどの職種に通じることだと思います。業界の将来展望を語りながら新規入職者を獲得していかなければなりません。

伝統を受け継ぎながらも、伝統回帰主義ではなく、新たな需要を創造し進化していくことが、いま求められています。



畳床の裏側に藁を縫い付け厚みを調整

↑マンションリフォームのモデルハウス内の茶室。東京建築カレッジ 第24期生・新田幸士さんが卒業制作で仲間と制作した組み立て式の茶室(表面も茶室・和室の部分)

参加登録

会場準備の都合上、下記をご記入の上、FAXまたはメールで参加登録をお願いします。

FAX: 03-5950-1774 E-mail: info@doken-college.ac.jp

11/14(金)
締切

所属(会社名・学校名・組合支部名など) 職種・学科など

お名前(フリガナ)

参加人数 名

ご連絡先電話番号

メールアドレス

東京建築カレッジ 公開講座への参加回数 初めて・2回目・3回目・4回目以上

小曽根さんに聞いてみたいこと

東京建築カレッジに期待すること、ご質問



Access

けんせつプラザ東京 5階 大会議室

東京土建一般労働組合本部会館

東京都新宿区北新宿 1-8-16 ☎03-5332-3971

JR総武線 大久保駅 北口より徒歩3分/JR山手線 新大久保駅より徒歩8分

東京建築カレッジとは

「日本における建築の基本は木造建築にある」という考え方で、伝統的な大工技術を通して建築の基礎を建築業界で働きながら学べます。手道具・手刻みへのこだわり、伝統構法を取り入れた実習棟実習などが特色。1996年4月開校。母体は東京土建一般労働組合。

入学相談、
授業見学
などの
お問い合わせ

〒170-0014 東京都豊島区池袋 1-8-6
東京土建技術研修センター内 東京建築カレッジ
☎03-5950-1771 FAX 03-5950-1774
info@doken-college.ac.jp
<http://www.doken-college.ac.jp/>

